

「ムシラップ」の散布で促成ナスの日焼け果を減らせます



正常な果実



日焼け果
(販売不可)

図1 日焼け果の外観

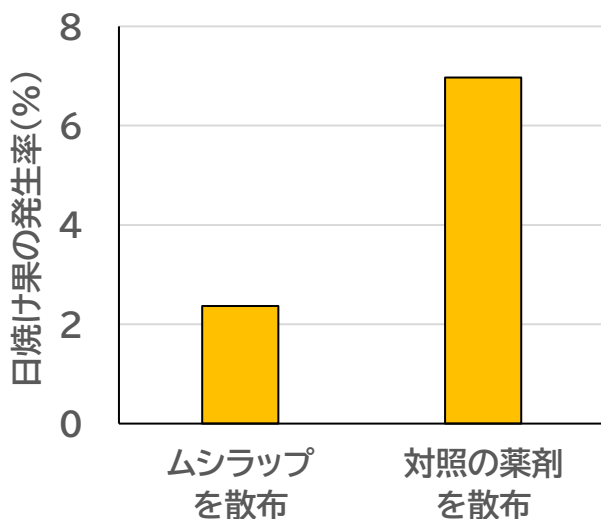


図2 ムシラップの散布が日焼け果の発生に及ぼす影響
(3/1～6/10に収穫した果実数のうち販売不可の果実数の割合)

開発のねらい

促成ナスでは、早春から初夏にかけて強い日差しで果実の表面が乾燥し、日焼け果が発生することがあります(図1)。これにより見た目が悪くなり、販売できる収量が減ります。そこで、蒸散を抑える効果も期待される殺虫殺菌剤「ムシラップ」の散布により、日焼け果を減らせるか検討しました。

新技術の概要

- 「ムシラップ」を株全体に定期的に散布すると、果実の水分が失われにくくなり、表面の傷みが起こりにくくなるため、日焼け果の発生を抑えられます(図2)。
- 日焼け果が減ることで、見た目のよい果実が増え、販売できる収量の増加が期待できます。

活用場面

日差しが強くなり、日焼け果が出やすい早春から初夏の散布が効果的です。特に、曇雨天日の後に晴天日となるなど、発生が心配される前に株全体へむらなく散布することで、果実の傷みを抑えやすくなります。